

ふパルしろね図書館だより

No. 188
～Since 2000～

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
2016年1月発行



くらしのなかに図書館を

あけましておめでとうございます

新しい年が皆様にとって希望に輝くよい年になりますよう、お祈りいたします。

近年、各地で震災や風水害、火山噴火までも起こり、異常気象と自然災害のもたらす生活不安が懸念されます。南区は、中ノロ川と信濃川に囲まれ、昔から多くの先人たちが水と土との戦いを強いられてきましたが、ねばり強い越後人は多くの苦難を乗り越え、後世のために今日の生産基盤を残してくださいました。それと全国に知られる勇壮な大風合戦では、その熱気と心意気もしっかりと受け継がれている、素晴らしい地域だと思います。

私事ですが昨年から必要に迫られ、休耕畑の野菜栽培や庭木の管理を始めました。これまで手伝い程度しか行ってこなかった私にとって、土づくりから栽培管理まで近所のおじいちゃんおばあちゃんから教わることばかりですが、白根図書館には野菜栽培から庭園管理方法などの蔵書がたくさんあり、これらを有効に利用させていただきました。おかげで思わず自慢したくなるような白菜や、スーパーにはない変わった形の大根や人参、掘るのも疲れるほど長いごぼうなどが収穫でき、親戚におすそ分けすることができました。

この白根図書館は何と言っても明るさとゆったりとしたソファで時間を過ごすことができます。普段、お仕事や育児などで時間に追われ、なかなか読書をする機会のない方も多いと思いますが一度、白根図書館でゆったりとしたひとときを過ごしてみませんか。様々な立場で日々頑張っておられるみなさんの、やすらぎと充実のひとときを感じていただけたと思います。

また、白根図書館では毎週土曜日に「赤ちゃんタイム」や「おはなしのじかん」を行い、保護者と赤ちゃんと一緒に絵本などに親しんでいただくという企画も毎週行っていますし、季節に応じた各種取り組みがたくさんありますので、毎月発行の「図書館だより」をご覧ください、ぜひ図書館においでください。

本年も、図書館をおおいにご利用くださいますようお願いいたします。

2016年1月

新潟市立白根図書館・月潟図書館 館長 大平市平



蔵書点検による休館と3週間貸出のお知らせ

蔵書点検にともない、白根図書館は下記の通り休館します。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

休館日	2016年1月20日(水)～ 27日(水)
3週間貸出期間	2016年1月7日(木)～ 19日(火)



12月開催事業報告



12月6日(日)に絵本作家の三浦太郎さんをお迎えして白根図書館開館15周年記念文化講演会を行いました。三浦さんの生い立ちや絵本誕生秘話などの興味深いエピソードを、たくさんの写真とともにご講演くださいました。

また、12月23日(水・祝)には毎年恒例となったクリスマスおはなし大会を開催。

どちらも多くの方々からご参加いただきました。ありがとうございました。



◆『風が強く吹いている』◆

三浦しをん/著(新潮社)

箱根駅伝が舞台。同じアパートに住む10人が駅伝に出場するストーリーだが、登場人物の個々のキャラクターがおもしろい。同じ釜の飯を食う仲間との絆がファミリーに通じると考えてこの本を選んだ。仲間との絆は大事だと思うが、今、若い人のなかでは同じ釜の飯を食うような関係は少なくなっているのではないかな。

◆『オー!ファーザー』◆

伊坂幸太郎/著(新潮社)

母親1人・息子1人と4人の父親と一緒に暮らす、6人家族の物語。父親がそれぞれに個性的で、息子への愛し方が違うのがおもしろい。本当の父親が誰なのかはわからないが、最後には絆が生まれ、ハッピーエンドで終わる。

◆『男はつらいよ 1~5』◆

山田洋次 他/著(筑摩書房)

寅さんの家族が崩壊しないのは、問題を起こすと寅さんがいなくなるからだだろう。人間が憎みあうのは心理的・物理的に距離が近い者同士が多く、家庭円満でいるのは難しいという人もいる。幸せを絵に描いたような家族でもそれがいつまでも続くわけではないので、その時々で対処していくしかないのでは。

◆『筒井康隆全集 11』◆

筒井康隆/著(新潮社)

この中に収録されている「家族八景」は、人の心が読める家政婦が主人公のSF作品だが、コンピューターやロボットが進化すればありえない話ではない。筒井康隆さんは未来を見通す力がある作家だと思う。

◆『変身』◆

カフカ/原作 パラエティ・アートワークス/企画・漫画 (イースト・プレス)

主人公が虫になってしまう話だが、家族との関係がテーマの作品だと思った。主人公は自分が働けなくなったので家族が暮らせないと心配しているが、家族は生活できているし、迷惑をかけるばかりの存在となってしまう。カフカはこの作品で、「自分が本当に家族や社会にとって必要な存在なのか」という疎外感を描きたかったのではないかな。

◆『ファミレス』◆

重松清/著(日本経済新聞出版社)

夫婦・親子・友人といった人と人とのつながりを、料理を通して描いている作品。料理は誰かのために作る時が一番うまくなり、家族の基本なんだということが書かれている。厳しい話もコメディータッチなのが救いだ。

◆『ガラスのうさぎ』◆ 高木敏子/著(金の星社)

◆『この子を残して』◆ 永井隆/著(中央出版社)

世界大戦が起きるかもしれないと言われている今だからこそ、この様な本を読んで歴史を学び・考えることが大事。

このほかにも紹介されました!

◆『ガラスの動物園』◆ T・ウィリアムズ/著(新潮社)

◆『夜行観覧車』◆ 湊かなえ/著(双葉社)

◆『理由』◆ 宮部みゆき/著(朝日新聞社)

◆『手紙』◆ 東野圭吾/著(毎日新聞社)

◆『空中庭園』◆ 角田光代/著(文芸春秋)

◆『下町ロケット 2』◆ 池井戸潤/著(小学館)

◆『定本岳物語』◆ 椎名誠/著(集英社)



次回の読書会



1月の読書会テーマ 「今年最初に読みたい本」

1月17日(日)午後2時~
会場 白根学習館ルーム2

申込みはいりません。気軽に本の話を楽しみましょう。おいしいお茶とお菓子を
用意してお待ちしています。

しろね図書館友の会共催



読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする、午後のお茶会のような集まりです。

図書館員がおすすめする
この1冊

食
とい
の
ち



日本の風土に根ざした「食」を探求してきた料理研究家・辰巳芳子氏。辰巳氏が病床の父のために作り続けたスープは、「いのちのスープ」と呼ばれて広く知られることとなり、人々を癒してきました。

この本は「食といのちの関わり」をテーマに、生物学者・福岡伸一氏や倫理学者・竹内修一氏をはじめ、各界の第一人者と語り合った対談集です。温かいおかゆやスープなどのレシピも掲載されているので、寒い日にお家で作ってみたいはかがでしょうか。(小林)

食といのち

辰巳芳子/著
(文芸春秋)

子どもたちといっしょに

おとこのこがつくったゆきだるまくん。

ボタンの目、ニンジンノ鼻、そして帽子とマフラーをつけています。

そして、なんといっても好奇心旺盛！おとこのこがおひるごはんを食べている間に、大冒険へと出かけます。スキーを履いて、山でぶつかってしまったりおいかけてっこをして…さてどこまで行くのでしょうか。

96ページと絵本としてはちょっと分厚いように感じますが、テンポよくおはなしが展開していくのでどんどんと読みすすめることができます。今の季節にぴったりの楽しい絵本です。(加藤)

親子で楽しめるえほん



ゆきだるまくん、どこいくの?

たむらしげる/作
(偕成社)

今月の展示架

1/7~2/2



笑門来福

笑うと免疫力が上がり、インフルエンザやがんの予防になるということは、周知の事実です。とはいえ、寒い季節には、つい表情もかたくなってしまいますね。まずは本を読んで、リラックスすることからはじめてみませんか？きっと知らないうちに笑顔になっているかもしれません。

笑いに関するさまざまな本をあつめてみました。

白根図書館 2/3 までの行事

白根図書館休館日 毎週金曜日・毎月第1水曜日

1/8(金) 1/15(金) 1/20(水)~1/27(水)

1/29(金) 2/3(水)

蔵書点検のため休館

*1月7日(木)~19日(火)まで

貸出期間が3週間に変更になります。

おはなしかご例会

毎月第2,第4土曜日

※白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会です。

1/9(ルーム4.5)午前10時~

※1/23の例会はおやすみです。

おはなしのじかん

毎週土曜日

絵本のよみかたり

午後2時10分~

ストーリーテリング

午後2時30分~

読書会

(毎月第3日曜日に開催)

1/17(ルーム2)午後2時~

2月のブックスタートは3日(水)です。

12月の来館者数……10,153人

月潟図書館だより

2016年 1月

編集・発行 新潟市立月潟図書館

〒950-1304 新潟市南区月潟 1417 番地 電話：025-375-3001 FAX：025-375-1060



謹賀新年



昨年中ご利用いただき、
ありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願
いいたします。

クリスマス会とチャレンジ教室にたくさんのご参加をいただき、ありがとうございました!

12月12日にクリスマス会を行いました。
クリスマス会ではみんなで絵本を楽しみ、サ
ンタさんやトナカイさんとクリスマスの歌
を歌うなど楽しい時間になりました。



12月27日のチャレンジ教室では、
毛糸でかわいいゆきだるまを
作りました。



1月のテーマ展示

体も心もあたためる、ホットな本

暖冬...と言われてはいても、たまの寒さをより寒く感じてしまう。
そんなときに読みたい本をご紹介します。

月潟図書館

1

月の休館日 (翌月の図書整理日まで)

休館日 毎週月曜日・毎月第1水曜日・祝日

1月1日(金)、2日(土)、3日(日)、4日(月)、6日(水)、
11日(月)、12日(火)、18日(月)、25日(月)、
2月1日(月)、3日(水)



開館時間

火曜～金曜：午前10時～午後7時
土曜～日曜：午前10時～午後5時



おはなしの
じかん

◇毎月第2水曜日午後4時30分～午後5時 場所:おはなし室
◇毎週土曜日午前10時30分～午前11時 場所:視聴覚室